

会員の皆様へ：年会費納入の情報：郵便封筒の宛名下の数字参照。2022 は 2022 年度まで納入済み。

しのばず自然観察会より 2022-3 2022.03.07

2022 年 3月の活動 不忍池定点観察 今回は平日

集 合：2022年3月23日(水) 午前10時 不忍池 蓮池南西端
緑の小旗あり（野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り） 今回は雨天中止
持 物：筆記用具、双眼鏡、雨具 飲み物、マスク、敷物（必要な方は昼食）
解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚 寒暖対策も！



コロナ感染防止のための東京都「まん延防止等重点措置」は3月21日まで延長となりました。新規感染はなお高値安定の傾向があるので、3月の活動は試みに、連休明けの平日である水曜日にしました。

また、昨年の有志活動を拡大して、赤塚公園で平日観察会を企画します。こちらは申込制にしますので、ご注意ください。

*上野公園・不忍池はお花見シーズンなので、日曜日を避けました。ご理解を。

2022 年 3月の活動その2 赤塚公園平日観察会

実施日：2022年3月29日(火) 午前11時ころから 雨天予備日4月5日(火)
持 物：筆記用具、双眼鏡、雨具 飲み物、マスク、敷物、必要な方は昼食
午後1時頃 現地解散（地下鉄西高島平またはバスで高島平、成増へ接続）

申し込み：23日の観察会で申し込みをしてください。23日不参加の方、あるいは23日が雨天中止の場合は、3月23日午後6時までに、しのばず自然観察会・小川潔へ電話で申し込んでください。折り返し葉書で集合地・交通などの詳細をお知らせします。

都立赤塚公園では、春早くにジロボウエンゴサクが咲き、続いてニリンソウ、カントウタンポポ、ヤマブキソウなどが開花します。板橋区在住の栗林菊夫さんに案内をお願いしていますが、今年は季節の進行が読めないそうです。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2021年以前の会費未納の方も忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ。

しのばず自然観察会創立 50 周年記念誌出版について

この間、会員の皆さんには意見をうかがってきましたが、当初案に特に異議がありませんでしたので、以下のような方向で進めることにします。

この間行ってきた「上野しのばず学習会」の成果をまとめなおし、しのばず自然観察会の歩みと、フィールドである上野公園・不忍池の自然と歴史を、市民・住民の視点から発信します。

自費出版で、しのばず自然観察会創立 50 周年の 2025 年刊行を目指します。会の所有財産の範囲内で出版することを原則に、会員への新たな経済的負担をかけないようにします。会員には、執筆、校正、発送（コロナ収束を前提に）などの作業協力をお願いします。

私たちの上野公園ーしのばず自然観察会 50 年史（仮のタイトル） 仮目次

第 1 章 上野公園の歴史（学習会の成果から） 学習会の話題提供者が執筆予定
第 1 話 先史時代から歴史時代／**第 2 話** 寛永寺の時代／**第 3 話** 上野戦争と彰義隊墓所／**第 4 話** 上野公園の成立過程／**第 5 話** 上野駅の変遷／**第 6 話** 都市公園法からランドデザイン、21 世紀の大改造／**第 7 話** 受難の上野公園・不忍池（補足）
第 2 章 しのばず自然観察会のあゆみ おもに小川潔が執筆中
第 1 話 観察会前史／**第 2 話** 観察会発足からカワウ保護／**第 3 話** 不忍池浚渫から上野公園総合調査／**第 4 話** 不忍池地下駐車場建設問題と不忍池を愛する会の活動／**第 5 話** 上野のお山を読む発刊／**第 6 話** 上野公園そのまま博物館の活動／**第 7 話** 補遺ーその他のしのばず自然観察会の活動（他の会との共同活動、月例活動と特徴など）／**第 8 話** 上野公園の植物／**第 9 話** 不忍池の水鳥／**第 10 話** 上野公園自然と歴史的空間見どころ紹介／**第 11 話** 私たちの上野公園（寄せ書き、意見、感想、思い出、上野公園の Q&A など）

学習会を共催した「上野のお山を学ぶ会」の酒井美和子さん、芝本敏彦さんに、第 1 章第 1 話、第 2 話、第 5 話、第 6 話の一部の執筆をお願いしています。また、第 2 章第 10 話は、会員の岡本忠直さんと検討中です。

他に執筆希望のテーマがあれば、お知らせください。また、第 2 章第 11 話に載せる原稿を募集します。会員の皆さんからの寄稿をお待ちします。テーマによっては、第 10 話までのなかに組み込むことも考えられます。とても長いものは要相談とさせていただきます。

なお、著作権尊重のため、ご自身の体験以外の記述には、出典を明らかにしてください（引用方法は小川に相談してください）。他人の作品（写真や図表、絵画など）の使用には、原則として作者あるいは所有者の許可が必要です。